

～実務へ落とし込む手法をマスターする～

収益性を高める「原価のしくみ」と「コストマネジメント」

【特 色】

売上の伸びが期待できなくなってきた不透明な経済環境の中で、収益性を改善する王道は、原価のしくみを把握し、マネジメントしていくことです。そのためには、企業は原価を把握することが第一になります。現状を把握してこそ具体的かつ効果的な打ち手が打てるからです。この現状の原価構造を把握するにあたって大きな役割を果たすのが原価計算の知識です。しかし、原価計算の基礎知識は理解することはできるのですが、実務への落とし込むとなるとハードルが高いとの話をよく聞きます。実際に原価を計算して、現状を把握し、原価管理に応用していくことができなければまったく意味がありません。

本講座では、原価計算を実際の実務に落とし込んでいくためにはどこがポイントになるか解説していきます。また、現在の原価計算方法の大きな欠点を理解していただき、原価計算のクセを学んでいただきます。経理だけでなく、営業や事業企画など幅広い部門で活用いただけるよう、実務への落とし込み方を丁寧に解説します。皆様のご参加をお待ちしております。

※プログラムは次のページでご確認ください。

【開催日時】

2019年11月22日(金) 10:00～17:00

【会 場】大阪銀行協会 別館3階(11号室)

大阪府大阪市中央区谷町3丁目3-5 最寄り駅：大阪メトロ谷町線・中央線 谷町四丁目駅

【受講料】 会員 24,200円 一般 31,900円

参加者1名様、消費税等、テキスト・資料代を含む

【講 師】 ^{みなみ}南 ^{としき}俊基 氏 南公認会計士事務所 公認会計士、税理士
日本証券アナリスト協会検定会員



早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。慶應義塾大学大学院経営管理研究科終了。監査法人トーマツ入所し、財務調査を中心に会社更生法監査、事業再編等の業務に従事。ソニー㈱の戦略コンサルティング子会社にて、ソニーグループの知的財産権評価、原価管理構築体制の支援に従事。バイオベンチャーであるテラ㈱にて、創業期から役員を務める。財務省理財局にて財政投融资の調査業務に従事。現在は南公認会計士事務所の所長として、メーカー、小売業、システム会社等に対して、事業計画の作成支援、財務戦略、原価管理体制の構築支援等を提供。〈著書〉「6W3Hでわかる決算書入門」、「書いて身につく会社分析ドリル」いずれも日本経済新聞出版社刊がある。

参加申込書

※個人情報の取り扱いに関して「私は貴社の個人情報に関する利用目的を確認、同意の上、申込みをします」
なお、個人情報の取り扱いについての詳細は、弊社ホームページ (<https://www.rri.co.jp/kojin/index.html>) をご覧ください。

11/22(金) 収益性を高める「原価のしくみ」と「コストマネジメント」【FAX.06-6258-8863 リそな総合研究所 行】

貴社名		区分	MS・会員・一般	会員 番号	
受講票 送付先	〒	連 絡 担当者	部署・役職		
TEL	()		氏名		
FAX	()		E-Mail		
		取引店	銀行	支店	
参加者	氏名	()	部署	役職	
	氏名	()	部署	役職	

1. 表面の「セミナー参加申込書」へご記入の上FAXにてご送信いただくか、弊社HPよりお申込みください。
2. お申込み受付後、「受講票」「会場地図」をお送りいたします。
3. 会員の方：入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のどちらかのお支払い方法になります。
一般の方：受講票とともに請求書をお送りいたします（原則）。セミナー開催前日までに振込みください。
4. キャンセルの場合、セミナー開催前営業日の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセル及び当日欠席は、受講料を全額いただきますのでご了承ください。また、事前のご連絡が無い限り、自動的にキャンセルにはなりませんのでご注意ください。
5. 諸事情により、開催を中止させていただく場合がございます。

【お問い合わせ先】
06-6258-8806
研修担当(H)

■カリキュラム

※録音・録画はご遠慮ください。

1. 原価計算の必要性

- (1) 原価を把握するということは
- (2) 実務への大きなハードル
～コストが下がらない原因とは
【事例研究】原価を知らずに起きる判断ミスとは
(実務と理論の大きな違い)
～アウトソーシングをしても思ったより
コストが下がらない理由は

2. 原価計算の基本

- (1) 計算事例でみる原価計算の基本
【計算事例】ラーメンの原価を計算してみる
- (2) 注文体系で異なる原価計算の方法
【計算事例】個別原価計算と総合原価計算
- (3) 原価を分類してみる
－材料費、労務費、経費の分類
－製造直接費と製造間接費の分類
－変動費と固定費の分類
【まとめ】原価の基本、6分類

3. 具体的な個別原価計算の流れ

- (1) 材料費の計算方法
→材料費＝価格×消費量の考え方
【事例研究】1個1,500円の部品と10個5,000円
の部品はどちらが得か
【実務への落とし込み1】
手順に沿って材料費の計算を行ってみる
- (2) 労務費の計算方法
→労務費＝賃率×作業時間の考え方
【実務への落とし込み2】
手順に沿って労務費の計算を行ってみる
- (3) 経費の計算方法
→経費＝支払額

【実務への落とし込み3】

- 手順に沿って経費の計算を行ってみる
- (4) 製造間接費の計算方法
→配賦という考え方
【計算事例】身近な例でみる配賦の考え方
【実務への落とし込み4】
手順に沿って製造間接費の計算を行ってみる
 - (5) 製品別原価計算（個別原価計算）の計算方法
【実務への落とし込み5】
製品別原価計算（個別原価計算）の計算事例

4. 具体的な総合原価計算の流れ

- (1) 材料費の計算方法
【実務への落とし込み6】
手順に沿って材料費の計算を行ってみる
- (2) 加工費の計算方法
- (3) 進捗度と完成品換算量
【実務への落とし込み7】
手順に沿って加工費の計算を行ってみる
- (4) 製品別原価計算（総合原価計算）の計算方法
【実務への落とし込み8】
製品別原価計算（総合原価計算）の計算事例

5. 現在の原価計算方法の大きな欠点

- (1) 全部原価計算と直接原価計算とは
【実務上の注意点1】
売上が同じでも原価は変わる不思議
【実務上の注意点2】
在庫を変動すると利益が変わる
- (2) 直接原価計算の基本的な構造